

山武市

(令和6年8月14日)

株式会社マーケットエンタープライズとリユースの促進に向けた連
携協定の締結について

お世話になっております。
標記の件について、別紙のとおりお知らせいたします。
ご確認をよろしくお願いいたします。

【この件に関するお問合せ】
建設環境部環境保全課
0475-80-1163



報道関係者各位

2024 年 8 月 14 日

千葉県山武市

株式会社マーケットエンタープライズ

千葉県山武市が不要品リユース事業で 「おいくら」と連携を開始

～リユース施策初導入で住民の利便性向上へ～

千葉県山武市(市長:松下 浩明)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2024 年 8 月 14 日(水)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、山武市の廃棄物削減と地域脱炭素化の推進及び循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

山武市では、2020 年 6 月に宣言をした「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、循環型社会を実現するためにも、廃棄物の発生抑制と削減、さらに再利用と再生利用を総合的に推進することで、環境への負荷軽減に繋げていくこととしております。こうした流れから、これまでリユース推進につながる施策導入の可能性を模索しておりましたが、市主導で施策を実施するのは難しく、導入には至っておりませんでした。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動을続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、マーケットエンタープライズが山武市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指す」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ120万人(2024年1月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■山武市の課題と「おいくら」による解決策

山武市では、粗大ごみの戸別収集を行なっておりますが、大型品や重量のあるものでも、原則、市民が不要品を運び出す必要があります。そのため、市には「自宅の中から不要品を運び出して欲しい」などの声が寄せられておりました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも容易に売却ができるようになります。加えて、市では回収ができない冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取が可能で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用についてはもちろん、市の費用負担もありません。

■今後について

8月14日(水)11時(公開時間が前後する可能性があります)に山武市ホームページ内

(<https://www.city.sammu.lg.jp/page/page002179.html>)へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。山武市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■千葉県山武市

山武市は、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央で約 8 キロメートルにわたって太平洋に面しています。海岸地帯は、砂浜と松林が連なり、成東海岸と蓮沼海岸の遠浅の海が広がり多くの海水浴客が訪れます。稲作はもちろん野菜や果実の生産も盛んで、山武杉などの林産物、九十九里浜の海の幸と、自然の恵み豊かな地域であるとともに、観光リゾート地として海水浴やサーフィン、テニスなどのスポーツも楽しめ、若者にも魅力ある地域資源を有しています。近年では山武市の立地条件の良さから、工業施設の集積が高まりつつ、また自然環境の良さからもこの地域を訪れ、移り住む人々も数多くいます。千葉市や成田国際空港まで約 10 から 30 キロメートル、都心へも約 50 から 70 キロメートルという交通アクセスの利便性も向上しており、物流と観光の拠点としての今後の発展が期待されています。

人口: 47,919 人 (男 24,318 人、女 23,601 人) (2024 年 7 月 1 日)

世帯数: 22,712 世帯 (2024 年 7 月 1 日)

面積: 146.77 平方キロメートル

ウェブサイト: <https://www.city.sammu.lg.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006 年の設立以来、成長を続けています。2015 年 6 月には東証マザーズに上場。2021 年 2 月に東証一部へ市場変更の後、2022 年 4 月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80 か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ 720 万人を達成しました。山武市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で 155 にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト: <https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト: <https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

山武市に関すること

山武市 建設環境部 環境保全課 環境保全係

担当: 行木

Tel: 0475-80-1163

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当: 立花

Tel: 03-6675-3923 Mail: pr@marketenterprise.co.jp